

本アンケートは、BIM作成に係る標準業務報酬を検討するために実施するアンケートです。企画(S0)から引渡し(S6)<sup>※2</sup>のフェーズにおいて、客先、協力先の要望で何らかのBIMの作成業務に係った際の情報をご提供ください。案件、プロジェクトごとの情報をそれぞれ記入ください。出来るだけ多くの案件情報をご提供頂きますようご協力のほど宜しくお願いします。

会社名:

同一案件で、2つ以上のフェーズに渡ってBIM利用している場合は、行を分けて記載ください。

BIMの利用が部分的な場合は、利用した部分の床面積を記載ください

設計BIM(確認申請BIM)をベースとして作成(修正)した竣工BIMの事を指します。(維持管理BIMとは異なります)

(指導者)BIM作業を指導、指導する者(モデラー)BIMを作成するオペレータ、ソフトを操作する者 ※BIM作業概要の時間の合計と合致しなくても構いません。

No	案件情報 <sup>※1</sup>							BIM作成時の立場		BIM利用時のフェーズ		受注先・協力先	BIM作業概要 (実施した作業に○を選択し、それぞれの作業に要した時間数を記載)										BIM作業に要した総時間数		コメント (自由記述)					
	建物種類 <sup>※1-1</sup> (選択)	建物用途 <sup>※1-1</sup> (選択)	床面積の合計 (m)	新築/改修 (選択)	特殊な形状の建築物 <sup>※1-2</sup> (選択)	特殊な敷地の建築物 <sup>※1-2</sup> (選択)	特殊な性能を有する建築物 <sup>※1-2</sup> (選択)	(選択)	その他を選択した場合(記述)	(選択)	その他を選択した場合(記述)		使用ソフト	BIM対応床面積 (m)	作業① 3Dモデリング (時間)	作業② 情報入力 (時間)	作業③ 干渉チェック(納まり検討) (時間)	作業④ シミュレーション (時間)	作業⑤ 施工計画 (時間)	作業⑥ CG・VR作成 (時間)	作業⑦ 竣工BIM作成(3Dモデル) (時間)	指導者 (時間)	モデラー (時間)							
例)	四 業務施設	事務所等	12,000 m <sup>2</sup>	新築	○			設計協力		S4(実施設計2/詳細設計)	その他	空・衛・電	ゼネコン	Revit	5,000 m <sup>2</sup>	1,000 時間	○	150 時間	○	1,000 時間	○	80 時間	○				560 時間	1,670 時間	設計変更にてBIM	
1																														
2																														
3																														
4																														
5																														
6																														
7																														
8																														
9																														
10																														
11																														
12																														
13																														
14																														
15																														

※1:案件情報の入力下記を参考にしてください (参考)国土交通省告示九十八号

※2:設計・施工の各フェーズにおける業務内容は下記を参考としてください

※1-1 :建築物の類型

建築物の類型	建築物の用途等	
	第1類(標準的なもの)	第2類(複雑な設計等を必要とするもの)
一 物流施設	車庫、倉庫、立体駐車場等	立体倉庫、物流ターミナル等
二 生産施設	組立工場等	化学工場、薬品工場、食品工場、特殊設備を付帯する工場等
三 運動施設	体育館、武道館、スポーツジム等	屋内プール、スタジアム等
四 業務施設	事務所等	銀行、本社ビル、庁舎等
五 商業施設	店舗、料理店、スーパーマーケット等	百貨店、ショッピングセンター、ショールーム等
六 共同住宅	公営住宅、社宅、共同住宅、寄宿舎等	—
七 教育施設	幼稚園、小学校、中学校、高等学校等	—
八 専門的教育・研究施設	大学、専門学校等	大学(実験施設等を有するもの)、専門学校(実験施設等を有するもの)、研究所等
九 宿泊施設	ホテル、旅館等	ホテル(宴会場等を有するもの)、保養所等
十 医療施設	病院、診療所等	総合病院等
十一 福祉・厚生施設	保育園、老人ホーム、老人保健施設、リハビリセンター、多機能福祉施設等	—
十二 文化・交流・公益施設	公民館、集会所、コミュニティセンター等	映画館、劇場、美術館、博物館、図書館、研修所、警察署、消防署等
十三 戸建住宅(詳細設計及び構造計算を必要とするもの)	戸建住宅	—
十四 戸建住宅(詳細設計を必要とするもの)	戸建住宅	—
十五 その他の戸建住宅	戸建住宅	—

① 1 社寺、教会堂、茶室等の特殊な建築物及び複数の類型の混在する建築物は、本表には含まれない。  
2 第1類は、標準的な設計等の建築物が通常想定される用途を、第2類は、複雑な設計等が必要とされる建築物が通常想定される用途を記載しているものであり、略算方法による算定にあたっては、設計等の内容に応じて適切な区分を適用すること。

※1-2 :難易度による補正を行う建築物事例

難易度による補正の対象建築物	難易度係数		主に想定している事例
	設計	工事監理等	
特殊な形状の建築物	設定なし	1.35	・大空間や大スパン等の平面又は断面が著しく複雑な建築物の場合
特殊な敷地上的の建築物	1.55	1.50	・計画地のインフラ特性に応じた井戸、浄化槽設備等の設備を要する場合 ・排水本管のレベルが高いなど、公共インフラとの接続が困難な場合
特別な性能を有する設備が設けられる建築物	1.25	1.45	・太陽熱、井水、河川水、地中熱等の利用や省エネルギー性能指標(BEI)が0.75~0.5相当の省エネ性能を高める設備を要する場合 ・コージェネレーション、蓄熱、蓄電、地域冷暖房等や複数又は異なる種類の機器を組み合わせた複雑な設備システム構築を要する場合 ・被災時のインフラ途絶等の際に電源や給排水等の機能維持性能を高める設備を要する場合 ・特殊な防排煙設備、消火設備や防災、防犯等の信頼性を高める設備を要する場合 ・光、温熱、気流、音響環境等の快適性を高める設備を要する場合

(参考)国土交通省「建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン(第2版)」

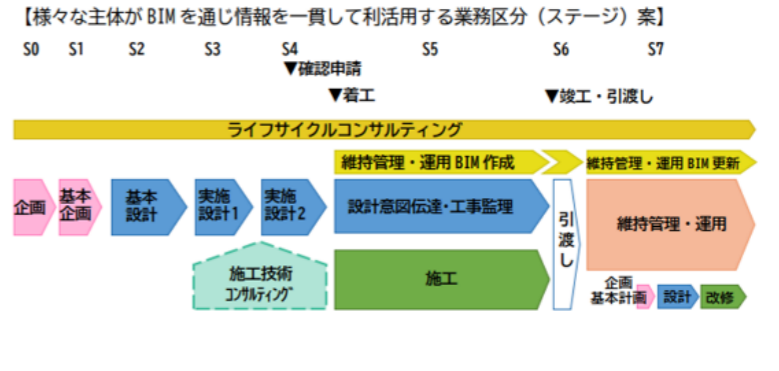


図2-1 業務区分(ステージ)

2-1-3. 8つの業務区分(ステージ)と、従来のワークフローの業務区分との変更点

- 下記の8つの業務区分を設定します。
- S0 : 事業計画の検討・立案
  - S1 : 条件整理のための建築計画の検討・立案
  - S2 : 基本的な機能・性能の設定
  - S3 : 機能・性能に基づいた一般図(平面、立面、断面)の確定
  - S4 : 工事を的確に行うことが可能な設計図書を作成
  - S5 : 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用BIM作成
  - S6 : 本体工事の維持管理・運用BIM引渡し、別途工事などの維持管理・運用BIMデータの整備・引渡し
  - S7 : 維持管理・運用